

2016 年 5 月

2061-05-20 (Fri)

apktool にしよう

ひさしぶりに、smali/baksmali 使おうかなと思ったんだけど、apktool をつかう^{*1}のが楽そうだったので、そうしよう。

2016-05-19 (Thu)

Android 開発環境セットアップ

Intel x86 Emulator Accelerator (HAXM installer) をいれなければ入らない問題ではまった。
ここ^{*2}を参考に。

SDK Manager で Intel x86 Emulator Accelerator (HAXM installer) をインストールして、HAXM のインストールフォルダを開いて intelhaxm-android.exe を管理者権限で実行する必要がある。

インストールフォルダは、C:\Users\ ユーザ名 i\AppData\Local\Android\android-sdk\extras\intel\Hardware_Accelerate
でした。

おお、速い、速い。

2016-05-06 (Fri)

[Haskell] Bunny: trExpr を State モナドに

というわけ^{*3}で、trExpr を State モナドに書き換えた。これで、Let 式に取り掛かれるようになったというわけですが、今日はここまで。

→と思ったけど、もう少しやって、Let 式には対応した。それそうと、以下気になる点：

- Desugar.hs すくなくなりすぎた
- BindingGroup が不真面目すぎる
- 上と関係ありそうだけど、NoRec と Rec の扱い
- testcases/sample5.hs に対するエラーが気になる

2016-05-02 (Mon)

[Haskell] Bunny

Core への変換は、ひとまず sample1, sample 4 に関しては動作しているらしい。なので、Core から STG への変換にとりかかる頃合いなのだが、そのあたりの理解が定まっていないので、その辺を勉強すると並行して、Core への変換を仕上げていこう。Pretty Printer もつくりたい。

そういうわけで、sample2 を試してみたら、let 式の変換が未対応。

^{*1} <http://reverseengineering.stackexchange.com/questions/8044/repackaging-apk-file-using-baksmali-and-smali>

^{*2} http://mousouprogrammer.blogspot.jp/2015/01/androidandroidstudio_25.html

^{*3} <https://uhideyuki.sakura.ne.jp/studs/index.cgi/ja/diary201605#2016-05-02p0>

しかも、これは、構造の変更がいきりそうだ。おとといの件*⁴では、State モナドにしなくてもセーフかなと思ったんだけど、let binding を扱うには、やはり、binding を状態としてあつかわないとダメっぽい。いまは、`vs = map trExpr vdefs` みたいな感じで、元の定義と binding が一対一対応になるような形で書いてしまっているんだけど、let 式は複数の (アルファ変換された) 束縛に変換される、はず、なので。

そういうわけで、これからしばらくは、trExpr を State モナドに書き直す作業ですね。

*⁴ <https://uhideyuki.sakura.ne.jp/studs/index.cgi/ja/diary201604#2016-04-30p0>